

◆活動団体

団体名：特定非営利活動法人浜田芸術文化のまちづくり推進協会

連絡先：TEL 090-1017-8296

メール：npohamada_geibun@yahoo.co.jp

◆活動内容

1 夢街道「浜田城…江戸から明治へのみち」事業

- ① 浜田城つばきの復活事業
- ② 茶の湯文化の復活事業
- ③ 浜田藩物語発刊事業

2 芸術文化を中心としたまちづくり事業

- ①カレンダー「ふるさとが生んだ画家シリーズ」
- ②第8回石本正日本画大賞展への協賛

3 「スプリングコサント iii はまだ」への協賛

4 石見神楽を支えつながら K4 展への協賛

R5年度

1 夢街道「浜田城…江戸から明治へのみち」事業

①浜田城つばきの復活事業

元和5年（1619年）に初代藩主古田重治が伊勢国松坂から転封、浜田藩を開府した。重治は、千利休の高弟で武家茶人としても高名な古田織部の甥であり、自身は後に織部流五世を嗣ぐ茶人でもあった。茶花として椿を好み、築城の際、城山に植樹したものである。以後、自然交配を重ね、多くの珍種に生まれ変わり、城下町の文化に彩りを添えた。

しかし、その後の管理の不備・乱伐等により殆どその姿を消してしまった。幸いに保存を続けて来られた愛好家の方々のご協力により、苗木を頂き、令和5年度も引き続き育成作業を継続している状況である。

②茶の湯文化の復活事業

浜田城歴史資料館(旧御便殿)は、旧浜田藩主松平家によって建築され、大正天皇が皇太子時代に山陰を行啓された際、宿泊施設として利用された由緒ある建築物で、令和元年から資料館として利用されている。

茶道織部流を嗣いだ古田重治候との関係の深い「裏千家淡交会」の協力支援を得て、令和5年度も、浜田城歴史資料館(旧御便殿)にて、お茶会を5月3・4日協賛した。

③浜田藩物語発刊事業

山陰中央新報に「浜田藩物語、続・浜田藩ものがたり」として12名の執筆者により連載された「浜田藩栄枯盛衰の歴史を綴った連載シリーズ」及び「茶の湯文化と浜田城の椿」を加えて編集して一冊の本とし、250部を発刊した。

令和5年11月6日、浜田市へ120冊を寄贈し、当協会会員各位へ70冊、その他、執筆者や関係者へ配布をした。

更に、山陰中央新報社により、市内書店及び通販等にて、一般販売をした。

「浜田藩ものがたり」において、浜田藩の成立展開・地方行政・事件・交通殖産・文化信仰・崩壊等々、政治、文化、歴史が記載されており、地域の歴史をより多くの人に知って頂く機会になって欲しいと思う。

2 芸術文化を中心としたまちづくり事業

①カレンダー「ふるさとが生んだ画家シリーズ」

石本正舞妓シリーズ

令和3年 「のれん」

令和4年 「舞妓座像」

令和5年 「舞妓姉妹」

令和6年 「舞妓」

将来、可能であれば、橋本明治・山崎修二等々、ふるさとが生んだ画家シリーズも企画したい。

②第8回石本正日本画大賞展協賛(浜田市三隅町古市場・石正美術館にて開催)

石本 正画家の功績を顕彰し、未来への希望に満ちた学生の創作活動を奨励する、推薦制の学生公募展

特別賞 浜田芸術文化のまちづくり推進協会賞

受賞者 福留 亜未 大分県立芸術文化短期大学 専攻科1年

タイトル「まどろみ」

*出品校数 28校

*出品数 79点

*展示期間 令和5年9月9日～11月23日

3 「スプリングコート in はまだ」への協賛

地元 4 高等学校吹奏楽部で、新入部員が加わった新しいチームによる初めての公演イベントとして、すっかり定着しているスプリングコンサートを支援。

1部～各学校単独演奏

2部～陸上自衛隊中部方面音楽隊及び高校生との合同演奏

*令和5年4月23日(日)

*石央文化ホール(浜田市黒川町)

参加団体～陸上自衛隊中部方面音楽隊・浜田高等学校・浜田商業高等学校
江津高等学校・石見智翠館高等学校

4 石見神楽を支えつながる K4 展への協賛

神楽面や絵画など石見神楽に関連する作家や職人に焦点を当てた企画展

*出品者 川崎真央(日本画家)・柿田勝郎(面職人)・河野英喜(写真家)・
神楽職人(細川史子/植田倫吉/川邊志津枝)

*展示会 令和5年11月11日～11月26日

*浜田市世界こども美術館(3階コレクション室)

以上